

救急 ・ 救助

一 目 統 計

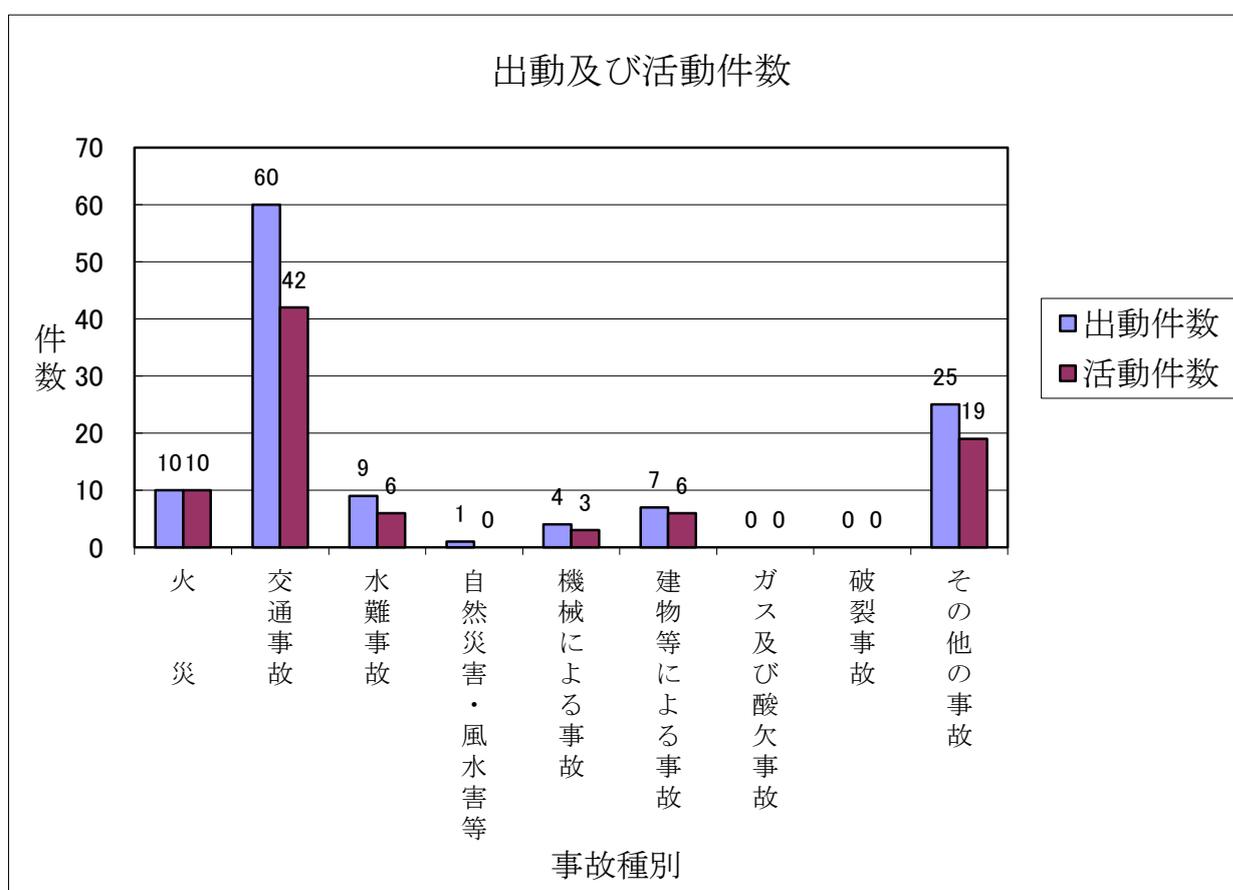
平 成 2 3 年 中

救 助 出 動 件 数		1 1 6 件
(うち 高度救助隊 出動件数)		7 9 件)
救 助 活 動 件 数		8 6 件
(うち 高度救助隊 活動件数)		4 4 件)
活 動 割 合		7 4 . 1 %
出 動 延 べ 隊 数		5 2 3 隊
救 助 人 員		8 2 人
1 日あたりの平均出動件数		0 . 3 2 件
活動1回あたりの平均救助人員		0 . 9 5 人
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	7 月	1 9 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 月	9 月	5 件
出 動 件 数 の 多 っ た 曜 日	木曜日	2 3 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 曜 日	水曜日	1 1 件
出 動 件 数 の 多 っ た 地 区	浜田地区、常磐地区	9 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 地 区	保々、水沢、同和地区	0 件
出 動 件 数 の 多 っ た 時 間 帯	0 時～1 時	1 6 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	2 3 時～2 4 時	1 件
出 動 の 多 っ た 事 故 種 別	交通	6 0 件
出 動 件 数 の 1 番 多 っ た 日	3 月 1 7 日	5 件

救出・救助活動状況

(平成23年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	10	60	9	1	4	7	0	0	25	116
出動隊数	123	241	49	2	18	14	0	0	76	523
出動延べ人員	745	877	165	8	69	49	0	0	306	2,219
活動件数	10	42	6	0	3	6	0	0	19	86
救助人員	3	45	6	0	3	6	0	0	19	82



水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成24年4月1日現在、21名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
19 年 中	災害出動 水難救助	5	1	2		1			1					
	水難訓練	35	2	2	2		1	4	5	3	3	6	4	3
	新人研修	28	2	2	2			5	1	4	2	2	6	2
20 年 中	災害出動 水難救助	5			1			1		2		1		
	水難訓練	48	2	2	2	1	2	8	5	7	6	5	6	2
	新人研修	26	2	2	3		1	2	2	1	4	4	3	2
21 年 中	災害出動 水難救助	5					1	1			1			2
	水難訓練	29	2	2	2		2	2	2	4	3	3	4	3
	新人研修	27	2	2	2			4	2	3	1	4	5	2
22 年 中	災害出動 水難救助	8		2		1		1		2		1	1	
	水難訓練	30	2	1	2		3	3	5	3	4	4	2	1
	新人研修	18						3	2	2	2	2	5	2
23 年 中	災害出動 水難救助	5		1		1	1			2				
	水難訓練	37	1	2	2		3	3	5	6	4	7	3	1
	新人研修	23	2	1	1			5		2	2	4	4	2

一 目 統 計

平成23年中

救 急 出 動 件 数		13,567件
搬 送 件 数		12,235件
不 搬 送 件 数		1,332件
搬 送 人 員		12,439人
	男	6,631人
	女	5,808人
一日あたりの平均出動件数		37.2件
一日あたりの平均搬送人員		34.1人
救急告示医療機関数		12施設 四日市市消防本部管内 (四日市市、三重郡川越町、朝日町)
出動件数の多かった月	12月	1,271件
出動件数の少なかった月	2月	980件
出動件数の多かった曜日	月曜日	2,043件
出動件数の少なかった曜日	水曜日	1,837件
出動件数の多かった地区	常磐地区	1,129件
出動件数の少なかった地区	同和地区	48件
出動件数の多かった時間帯	8時～10時	1,571件
出動件数の少なかった時間帯	2時～4時	520件
出動の多かった事故種別	急病	8,905件
出動件数の一番多かった日	8月 15日	59件
出動件数の一番少なかった日	10月 7日	18件

平成23年中の救急業務の概要

平成23年中の救急出動件数は13,567件で、前年に比べ245件の増加となりました。また、搬送人員は12,439人で前年と比べ157人の増加となりました。平成23年は、本市の救急業務始まって以来の最高の出動件数となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が8,905件（65.6%）で最も多く、続いて「一般負傷」が1,689件（12.4%）、「交通事故」が1,534件（11.3%）、「転院搬送」が873件（6.4%）となりました。「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約25人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、37.2件出動したことになっています。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して「高齢者」「少年」「乳幼児」「新生児」は増加していますが、「成人」はやや減少しています。「高齢者」の搬送比率は52.2%となっており、年々増加しています。

『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は62.2%となっています。前年と比較し、「重症」と「軽症」の比率はやや増加していますが、「死亡」と「中等症」の比率はやや減少しています。

『地区別』の傾向については、「中部」「常磐」「日永」「三重」「四郷」「羽津」の各地区が救急需要の多い6地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また中央地域、西部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計10台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

◎ 現場到着時間（覚知から現場到着までの平均時間）

年 中	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
現場到着時間	6分12秒	5分54秒	5分42秒	5分45秒	5分42秒

◎ 医療機関到着時間（覚知から医療機関到着までの平均時間）

年 中	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
医療機関到着時間	26分18秒	27分06秒	27分42秒	28分12秒	28分42秒

また、全ての救急車に少なくとも1名以上の救急救命士を配置できるよう、救急救命士の養成を継続していきます。

加えて、平成23年8月現在、市内の公的施設にAED（自動体外式除細動器）が274台配備され、さらに一般事業所等への設置も進んでおり、それらの事業所等で勤務する職員に対するAEDの取扱いを含めた応急手当講習を計画的に進めていきます。

◎ 救急救命士による特定行為の処置実績

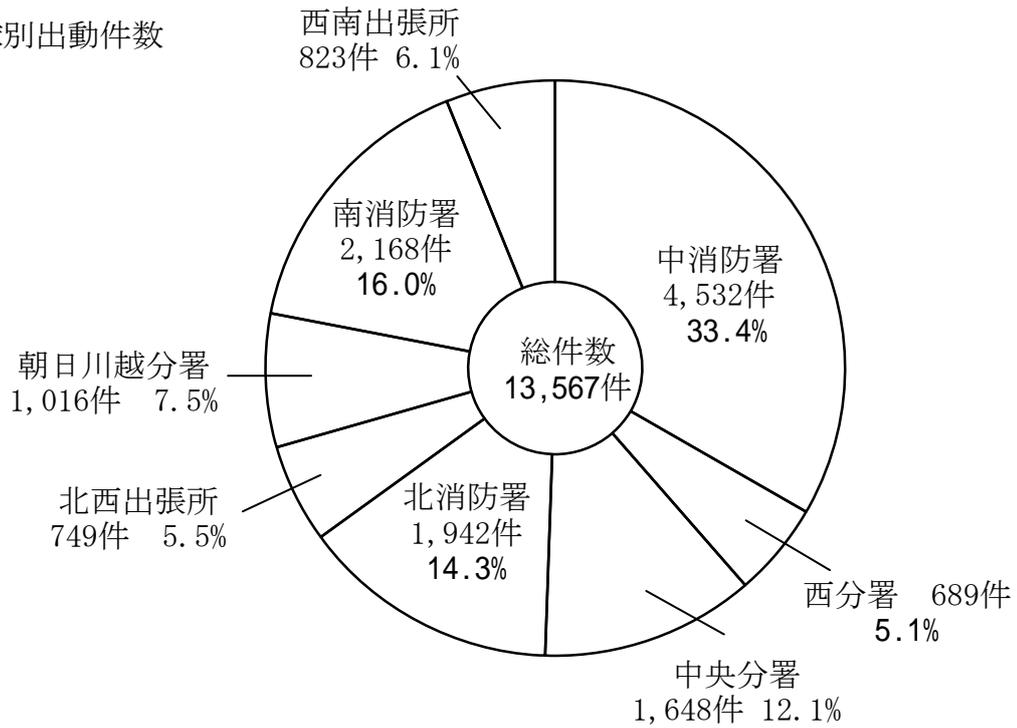
処置内容		気道確保	静脈路確保	薬剤投与
処 置 実 績	平成19年中	52	36	9
	平成20年中	42	61	12
	平成21年中	39	57	9
	平成22年中	61	64	20
	平成23年中	66	127	22

救急概要

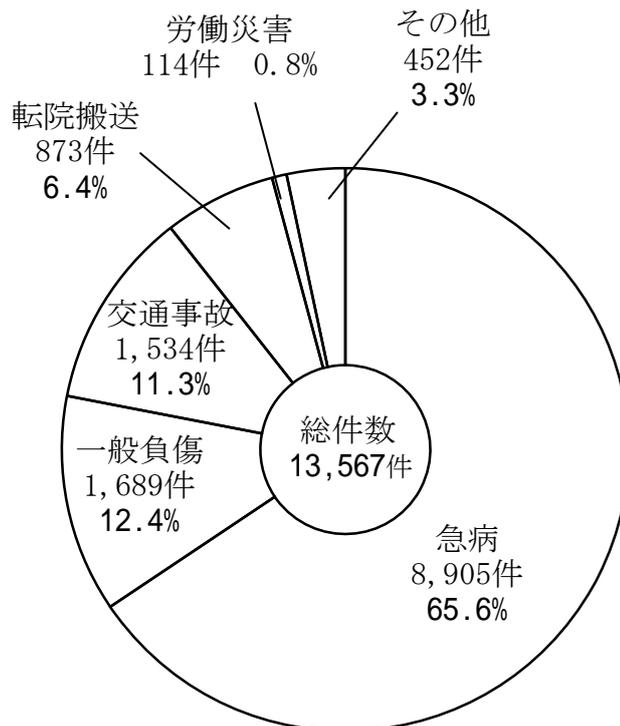
(平成23年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	13,567件	37.2件
搬送件数	12,235件	33.5件
搬送人員	12,439人	34.1人

救急隊別出動件数



事故別出動件数



救急発生状況比較

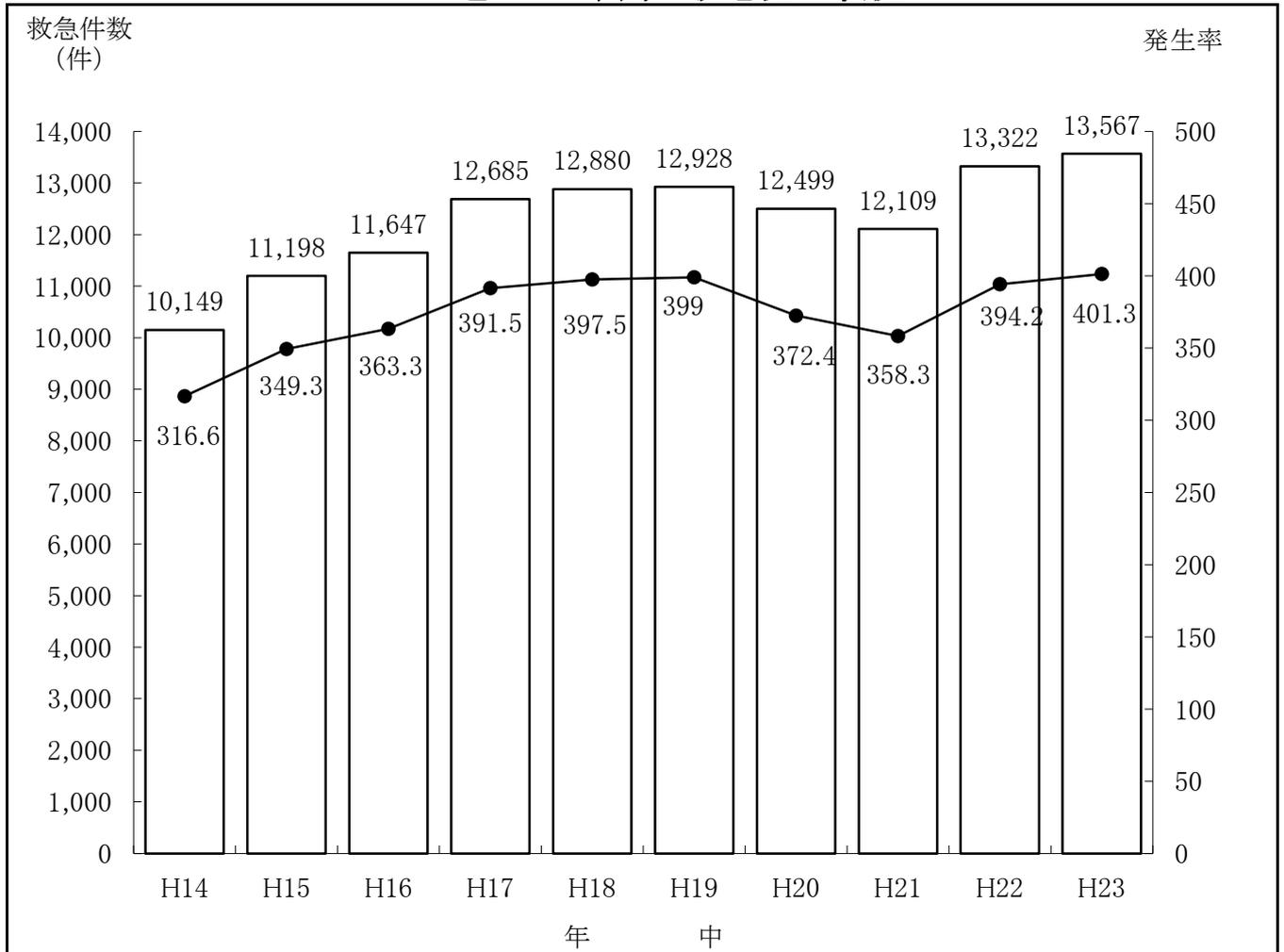
年 別		平成19年中	平成20年中	平成21年中	平成22年中	平成23年中
区 分						
全 国	救急件数	5,290,236件	5,097,094件	5,122,226件	5,463,682件	未確定
	発生率	414.4件	399.3件	401.2件	427.0件	未確定
三重県	救急件数	73,409件	72,553件	73,963件	78,971件	未確定
	発生率	393.2件	388.6件	396.2件	425.8件	未確定
四日市市 (朝日、川越 町含)	救急件数	12,928件	12,499件	12,109件	13,322件	13,567件
	発生率	399.0件	372.4件	358.3件	394.2件	401.3件

※救急自動車による救急出動件数

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

過去10年間の救急発生状況



平成23年

地区別救急出動状況

地区別		区分		出動件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
		13,567 件	100 %	12,235 件	100 %	12,439 件	100 %		
中 消 防 署	小計	6,025	44.41	5,382	43.99	5,466	43.94		
	共同	728	5.37	582	4.76	591	4.75		
	同和	48	0.35	43	0.35	44	0.35		
	中央	149	1.10	130	1.06	130	1.05		
	港	161	1.19	144	1.18	144	1.16		
	浜田	759	5.59	662	5.41	671	5.39		
	橋北	277	2.04	251	2.05	254	2.04		
	海蔵	475	3.50	428	3.50	435	3.50		
	常磐	1,129	8.32	1,035	8.46	1,056	8.49		
	川島	298	2.20	269	2.20	269	2.16		
	神前	319	2.35	289	2.36	296	2.38		
	桜	520	3.83	487	3.98	496	3.99		
	県	203	1.50	189	1.54	194	1.56		
三重	959	7.07	873	7.14	886	7.12			
北 消 防 署	小計	3,065	22.59	2,811	22.98	2,855	22.95		
	羽津	698	5.14	633	5.17	642	5.16		
	富田	516	3.80	484	3.96	494	3.97		
	富洲原	425	3.13	379	3.10	388	3.12		
	大矢知	512	3.77	465	3.80	472	3.79		
	八郷	347	2.56	325	2.66	332	2.67		
	下野	312	2.30	294	2.40	294	2.36		
	保々	255	1.88	231	1.89	233	1.87		
南 消 防 署	小計	3,517	25.92	3,177	25.97	3,218	25.87		
	塩浜	399	2.94	348	2.84	352	2.83		
	日永	887	6.54	799	6.53	807	6.49		
	四郷	824	6.07	755	6.17	765	6.15		
	内部	498	3.67	443	3.62	447	3.59		
	河原田	181	1.33	163	1.33	170	1.37		
	小山田	225	1.66	204	1.67	209	1.68		
	水沢	110	0.81	103	0.84	103	0.83		
楠	393	2.90	362	2.96	365	2.93			
高速自動車道		80	0.59	73	0.60	90	0.72		
市 外	小計	880	6.49	792	6.47	810	6.51		
	朝日町	338	2.49	308	2.52	312	2.51		
	川越町	540	3.98	482	3.94	493	3.96		
	その他	2	0.01	2	0.02	5	0.04		

平成23年

月別救急出動状況

事故別	区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		合計												
合計	出動件数	13,567	1,220	980	1,156	1,042	1,086	1,112	1,174	1,249	1,113	1,107	1,057	1,271
	搬送人員	12,439	1,119	886	1,062	960	988	1,021	1,097	1,154	1,017	1,015	962	1,158
火災	出動件数	61	5	8	7	6	2	5	5	5	5	5	3	5
	搬送人員	11	0	3	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0
自然災害	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出動件数	6	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通	出動件数	1,534	120	106	120	133	116	112	147	135	149	132	128	136
	搬送人員	1,561	125	95	131	135	114	117	153	142	153	133	124	139
労働災害	出動件数	114	8	13	7	6	4	11	11	12	8	10	14	10
	搬送人員	112	8	13	7	6	4	11	11	11	8	9	14	10
運動競技	出動件数	91	4	5	6	10	14	2	10	7	10	9	7	7
	搬送人員	95	4	5	6	10	16	3	10	7	10	9	7	8
一般負傷	出動件数	1,689	182	114	140	122	133	113	136	151	137	161	147	153
	搬送人員	1,565	172	107	133	113	124	104	123	145	125	144	132	143
加害	出動件数	73	4	5	3	3	9	7	3	11	6	6	4	12
	搬送人員	61	4	4	3	4	7	5	3	10	3	3	3	12
自損行為	出動件数	171	10	11	18	14	15	15	14	19	19	9	10	17
	搬送人員	121	9	8	12	9	10	7	9	14	18	8	3	14
急病	出動件数	8,905	800	645	783	661	726	758	778	821	720	691	678	844
	搬送人員	8,034	716	582	697	600	653	690	719	744	648	627	615	743
転院搬送	出動件数	873	81	69	70	82	59	83	67	81	51	83	63	84
	搬送人員	870	80	69	70	80	59	81	67	80	51	82	63	88
その他	出動件数	50	6	3	2	3	7	6	3	6	7	1	3	3
	搬送人員	9	1	0	0	2	0	3	1	1	0	0	0	1

応急手当の普及計画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約270回程度開催しています。

また、毎月1回、第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。

さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,500名の応急手当普及員及び指導者がいます。

応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習の実績 (267回) 4,800人 (平成23年中)

講習 実施 月	講習 回数	男 女 別		修了者 数 計	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他 (定期 含む)
		男	女									
合 計	267	2,403	2,397	4,800	221	523	96	1,032	1,642	424	350	512
1 月	19	170	86	256	40	0	13	0	85	61	16	41
2 月	20	221	54	275	55	27	0	0	159	9	11	14
3 月	13	133	66	199	23	0	0	0	116	25	0	35
4 月	11	124	100	224	0	0	0	0	99	3	85	37
5 月	19	144	199	343	21	68	0	19	97	51	0	87
6 月	65	477	846	1,323	45	235	18	531	186	124	128	56
7 月	32	215	590	805	0	66	37	482	115	8	26	71
8 月	14	120	74	194	0	0	0	0	110	18	27	39
9 月	23	275	69	344	14	44	0	0	175	37	11	63
10月	12	164	171	335	0	0	0	0	243	66	13	13
11月	25	199	104	303	5	58	28	0	129	22	33	28
12月	14	161	38	199	18	25	0	0	128	0	0	28

※ 応急手当普及員にて47回実施、受講者738人含む。

○上級救命講習の実績

一般公募・専門学校・事業所等	実施回数 7回 181名 (男92名 ・ 女89名)
----------------	-------------------------------

○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習 4回 ・ 再講習 11回 324名 (男310名 ・ 女14名)
-----------	--

○応急手当普及員講習の実績

コンビナート ・ 一般事業所 市職員・教職員・防災隊・住民・その他	新規講習 4回 ・ 再講習 6回 204名 (男143名 ・ 女61名)
--------------------------------------	---

応急手当普及活動による救命率の向上

心肺停止の傷病者に遭遇したとき、すぐそばに居合わせた人（バイスタンダー）が行う心肺蘇生法などの応急手当が、救命率や予後に大きく影響しています。

◎ 救命率とは、救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者のうち、1か月後の生存者の割合

	救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者数	家族等により応急手当が実施されていた傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
		家族等により応急手当が実施されていない傷病者数	そのうち1か月後の生存者数
平成14年	219人	53人(24.2%)	0人(0.0%)
		166人(75.8%)	3人(1.8%)
平成15年	242人	76人(31.4%)	6人(7.9%)
		166人(68.6%)	10人(6.0%)
平成16年	261人	71人(27.2%)	5人(7.0%)
		190人(72.8%)	9人(4.7%)
平成17年	272人	76人(27.9%)	1人(1.3%)
		196人(72.1%)	9人(4.6%)
平成18年	263人	53人(20.2%)	1人(1.9%)
		210人(79.8%)	11人(5.2%)
平成19年	278人	99人(35.6%)	5人(5.1%)
		182人(65.5%)	26人(14.3%)
平成20年	318人	130人(40.9%)	9人(6.9%)
		188人(59.1%)	13人(9.9%)
平成21年	276人	111人(40.2%)	2人(1.8%)
		165人(59.8%)	7人(4.2%)
平成22年	342人	148人(43.3%)	8人(5.4%)
		194人(56.7%)	8人(4.1%)
平成23年	322人	116人(36.0%)	8人(6.9%)
		206人(64.0%)	14人(6.8%)